

札幌コンサートホール改修工事に係る建築設計 選定理由及び総評

本プロポーザルは、札幌市都市局建築部が発注する工事に係る設計業務を委託する者の選定にあたり、創造性、技術力、経験などを適正に審査の上、その業務の内容に最も適した設計者を選定することを目的として実施しました。技術提案書の審査については、以下を「求める提案項目」とし、的確性、独創性、実現性等を考慮して総合的に評価しています。

(1) 施設休館期間の最小化を実現するために有効な改修方法及び工程等について

【考慮すべき事項】

- ・オルガンオーバーホール改修と建築工事の円滑な連携方法
- ・効率的な工程計画
- ・仮設資材・搬出入計画

(2) 施工方法に応じた工事期間中の楽器の養生計画について

【考慮すべき事項】

- ・オルガン及びピアノ室のグランドピアノ等、ほこり・振動等に留意する必要がある楽器の養生

(3) 技術協力者との関わり方と実施設計へのフィードバック方法等について

(4) その他独自提案について（当該業務を実施するに当たり重要と考えられる視点等）

1 選定理由

【選定者】株式会社ドーコン

楽器に負担の少ない実態に即した養生計画や搬出入計画など、施設の特特殊性についての細やかな配慮がなされた計画となっていることや、技術協力者に対する設計趣旨説明会の実施による効率的な事業遂行に加え、設計当初の思想や文化的価値を継承し、将来の維持管理までを見据えた改修方針が示されていることが高く評価された。

【次点者】株式会社札幌日総建

工場加工の最大化等による休館期間最小化に向けた工夫をベースに、IoT環境センサーを用いた振動等のモニタリングによる楽器養生など、一歩踏み込んだ提案であるとともに、将来を見据えたデジタルツインの納品や市民への情報発信まで視野を広げた意欲的な独自提案等が評価されたが、選定者には及ばなかった。

2 総評

選定者及び次点者が評価されたポイントを含め、全提案を通じた傾向等を示した総評は以下のとおりです。

【コンサートホールの特特殊性（音響性能・楽器保護等）への配慮】

過去の実績に基づく知見を活かした実施体制や、資材の搬出入時に活用できる大型エレベーターの先行改修など、工程の要所を押さえた提案が評価されました。また、大リハーサル室等の設備機器の特性を捉えた楽器養生計画や、パッケージ型仮設空調機・仮設気密壁の導入、加えて、IoT環境センサーを用いた振動・環境モニタリングなど、ホールの特特殊性に対応した提案が支持されました。一方で、移設困難な楽器に対する配慮は認められるものの、慎重な取り扱いが求められるパイプオルガンへの具体的な養生計画について、さらなる精査が必要といった意見がありました。

【ECI方式を踏まえた事業推進体制と技術協力者との連携】

設計チームがハブとなり、技術協力者を単なる施工者ではなく施設の価値を共に守る協働パートナーとして捉える業務遂行の姿勢が評価されました。また、新築時の設計趣旨を技術協力者へ直接説明する機会を設けるなど、設計思想を共有し円滑な協議を目指す取り組みが支持されました。一方で、業務の実施方針においてECI方式への言及が不足しているものや、技術協力者との役割分担において設計者としての検討内容が不明確な提案、加えて、技術協力者との円滑な関係構築の面で具体的な方策が不足しているといった意見がありました。

【休館期間の最小化に向けた工夫とコスト縮減】

工場加工の最大化による工数の削減や、プレファブ化、積雪期の仮設大屋根の設置など、休館期間の最小化を目指した工期短縮の工夫が評価されました。また、各部位ごとの費用対効果の検証や、耐久性・メンテナンス性に優れた材料選定など、コスト縮減を意識した提案が支持されました。一方で、提案内容が抽象的で具体的な条件への対応が読み取りにくい、予算管理の考え方において事業費縮減への積極的な姿勢が必ずしも十分ではないといった意見がありました。

【設計思想の継承と長い時間軸での独自提案】

ディテールを含めた既存の納まりや材料を理解し、新築時の設計思想や文化的価値を継承して現実的な改修方針を示す姿勢が評価されました。また、彫刻作品の復元方針といった視点に加え、将来の維持管理に活用できるデジタルツインの納品や、工事期間中の市民への情報発信、ファンエンゲージメントの向上など、将来の音楽文化を支える「長い時間軸」での提案も支持されました。